

## 第20回オンライン読書会（7）（ラインビデオ通話による）

＜参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会＞「おんなとおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2020.10.10 開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、  
2020年4月より ラインによるオンライン読書会を開催しています。

### ★ テキスト・テーマ：

- ノーベル賞と女性研究者 忘れられた Y 染色体の女性研究者
- 「いま、皆さんにとり、生きたあかしと言えるものは何か？」
- 週刊文春 woman 2020 年秋号  
「オードリー・タンの幸福への道」

★ 参加者 : 11名 (女性7名 男性4名)

### ★ 参加者の感想

#### 初めて読書会に参加して

大変有意義な時間を共有させていただき、ありがとうございました。盛りだくさんの内容だったので全部は書ききれないのですが、特に印象に残ったことをいくつか記させていただきます。

最初に長谷川理事長から、会の趣旨についてご説明があり、私に関心を持ったのは、夫婦の問題には、両者のルール替えの問題とそれぞれ個としての問題があるということです。また、夫婦の問題には性的な問題も含まれますが、どう取り上げていくかという課題もあるようでした。

具体的なテーマの一番目は、今期のノーベル科学賞を女性研究者二人が受賞したことに触れ、生命体として考えると、染色体からして男女の違いはあり、夫婦やカップルという視点で見ると、それぞれの違いを活かして、二人で目標を作っておくことが大切であるというお話がありました。また、夫婦の関係を、理事長の娘さんが最近始められたという合気道になぞらえ、合気道は切磋琢磨し合って心身の錬成を図ることを目的とし、相手と優劣を競うことをしない（したがって試合や競技会はしない）というお話が印象に残りました。



2番目のテーマは、「あなたにとって生きたあかしは何か」というものです。高柳美和子著「高齢恋愛」の中では、他人を全身全霊で愛したことが「生きたあかし」であるという考えが出てくるそうです。「生きたあかし」にはアイデンティティの問題が絡んでおり、自分が成し遂げたことという側面と、他者から評価されたり認められたりしたことという側面があるようです。意見を交換する中で、全体として女性は前者に主眼



を置き、男性は後者も意識しているように感じ、個人的にはそこにも性差があるように感じました。また、お話はボールビィのアタッチメント理論に発展し、高齢になっても生きている限りアタッチメントは必要であり、大人だって承認されたい、アタッチメントが取れているか否かは夫婦関係の良好さの差異として現れるということでした。

アタッチメントについて私が思い出したのは、私の両親のことです。私の両親は、子供である私が見ていて恥ずかしくなるほど仲の良い夫婦で、その夫婦スタイルは夫唱婦随という言葉がぴったりの昔ながらのものでした。数年前、父は難病にかかり 82 歳で他界しましたが、亡くなる半年前には入院生活を余儀なくされました。入院初日の別れ際、父は母に向かって「握手をしよう」と言って、二人は病床で手を握り合っていました。

両親にとって二人の関係は「生きたあかし」なのではないかと思うのですが、皮肉屋の娘としては、そんな夫婦でも、人間死ぬときは一人なのだとも思うのです。理事長が最初におっしゃった、夫婦の問題には二人の関係の問題と個としての問題があるということに通じるようにも思います。

以上、まとまりのない文章で恐縮ですが、大変、興味深いお話ばかりで、ぜひ今後も参加させていただきたいと思っています。

(家族相談士 松岡 薫)

### 新しい試みのオンライン読書会はいかがでしょう？



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶会は、しばらくおあずけですが、長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのセミナーもまた必見！夫婦生活につまずいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんなどおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合いましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

**★次回は第21回 12月5日(土)10:00 ZOOM開催です。**

次回は祝2周年「リモート忘年会」を同時開催いたします。  
これまでの読書会を振り返り、参加者の皆さまとの意見交換を行いたいと思います。会員の皆さま、奮ってご参加くださいわ！

---

<会員限定>

オンライン読書会（ZOOM）に参加ご希望の方は➡の  
QRコードに（森友ラインあて）、お手持ちのスマホで  
カメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

- ★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。  
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。  
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。